

地域にはばたく市民パワー！

ところざわ倶楽部「広場」

所沢市民大学修了者の会 広報紙

2016 年 7 月号（第 96 号）

発行責任者 稲村 洋二



「アジア研究会と食トコ」共同企画 スパイス料理講習会&試食会 玉上佳彦/撮影

第 9 期ところざわ倶楽部の半期を終えて

ところざわ倶楽部会長 稲村 洋二



6 月 8 日中央公民館で、第 5 回文化祭が開催されました。180 余名の参加者があり、アンケート調査では、舞台・展示部門ともに、高い評価を得ました。文化祭の終了で、9 期は半期を終えました。事業部門では 1 月の新入会員歓迎「新春の集い」、4 月の講演会「世界の動きと日本」、6 月の「文化祭」開催。広報部門では、ホームページを刷新し、「掲示板」を設け、会員との双方向の情報交換ができるようになりました。広報紙「広場」では、新企画「わがサークル自慢」「私にとっての昭和」「出会い」の各シリーズが編集の中心となっています。総務部門では、倶楽部の「あり方検討委員会」「10

周年記念事業検討委員会」の二つの委員会を立ち上げ、検討を重ねてきております。あり方検討委員会では、市民大学との関係の見直し、倶楽部の運営、今後の方向性を議論しています。市民大学との関係では、各サークルの定例会へ受講生の参加を呼びかけ、9 月予定のサークル活動発表会への招待、ホームページへのアクセスの案内等、いくつかのアクションプランをまとめました。倶楽部の運営課題につきましては、現行規約での運営上の矛盾点、理事会運営の課題を議論し結論を出す考えでいます。今後の方向性については、今期中に結論を出すには時間が足りないと感じています。その場合は来期へ引き継ぎます。

今後の事業計画は、7 月の「公開文芸講座」、9 月に、第一回サークル活動発表会の開催、11 月 22 日総会開催への準備を行います。理事全員で力を合わせて計画を遂行し、第 10 期ところざわ倶楽部へ引き継いでまいります。会員各位のご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。

アンケートから見た第5回文化祭

事業部長 二上拓夫

第5回ところざわ倶楽部の文化祭は、6月8日(水)中央公民館ホール及びホワイエで開催。約180名の来場者があり、盛況裡に終了しました。これも、ところざわ倶楽部会員の皆様のご支援、ご協力の賜物と感謝申し上げます。

舞台部門では、民話の会による絵コンテ「むかしのところざわの風景」は、懐かしい所沢の街並や生活模様を知ることができました。

また、シニア世代地域デビュー支援の会による「シニア・ダンスショー」、みんなで学ぼう認知症



による「笑う動作を体操にした認知症予防、笑いヨガ」は、会場の皆さんと一緒に体を動かし、会場全体が盛り上がっていました。

展示部門でも、49点の作品と5サークルの活動パネルが紹介されました。

※アンケート結果(64名)

I.全体は如何でしたか? 「よかった」64.1%

II.ステージは如何でしたか?

「楽しかった」93.8%

III.展示品は如何でしたか? 「よかった」84.4%

※主な意見・感想

- ① 来てみてよかった。こんな行事を5回も続けていたとは知りませんでした。
- ② シニアダンスはインパクトがあった。
- ③ 大変楽しい。出演サークルはそれぞれに工夫されていた。
- ④ 各チームとも準備が大変だったと思います。成果が表れていました。
- ⑤ 皆さんで楽しむことが大切だと思います。今後も、多くの方が参加できるようにPRをしてください。企画運営をしていただいたスタッフの皆さん、ありがとうございました。
- ⑥ 展示品、大変素晴らしい。特に、書がすばらしい。作品を出したくなりました。
- ⑦ 市民大学の修了者から、誘われて来てよかった。チラシを見てきてよかった。
- ⑧ 文化祭続けてください。来年も来ます。
- ⑨ 途中に、展示品を見る時間がありよかった。

6月度 理事会報告

総務部長 石堂 智士

6月13日(月)第7回開催

1. 会長挨拶

文化祭ご苦労様でした。大変良かったです。

当日、11時30分より、サークル無所属会員との懇談会を実施した(3名出席)。

23期市民大学企画員とOB3団体との懇談会時、会費二重取り等の誤解を解くことができた。

2. 総務部案件

1) あり方検討委員会の進捗状況報告

第3回議事録により報告

倶楽部運営課題は今後検討

2) 7月21日(木)、23期市民大学受講生へOB3団体から説明予定(生涯学習推進センター)

3) サークル無所属会員19名の内3名出席し懇談

4) サークル「地域の自然」の退会報告(サークル一覧表より削除する)

3. 事業部案件

1) 第5回文化祭報告、参加者約180名

熊本震災義援金14,396円を所沢市福祉総務課へ届けた

2) 公開連続講座応募状況報告

6月12日現在、76名(内一般8名)

3) 9月サークル発表会への参加は、現在、「アジア研究会」「野老澤の歴史をたのしむ会」の2サークル。他サークルの参加も要請

4. 広報部案件

1) 広場6月号の報告

2) 広場7月号編成案の原稿依頼

3) PCアドレス未登録者は連絡いただきたい

わがサークル自慢**北欧の国に魅せられて！****北欧の会 森野 辰夫**

北欧というと皆さん、どのようなイメージをお持ちでしょうか？ 白夜の国、深い森と湖、福祉に手厚い国、教育が無料の国、そして税金が高い国、クリーンな国、そうです、みんな正しいように思います。私達はそんな国に魅せられた仲間です。

何故、高福祉社会が実現出来、無料で教育が受けられるのか？ 何故国民は所得の60%~70%（国民負担率）の税金を文句も言わずに払っているのでしょうか。

日本は消費税を2%上げるのに大問題です。基本的には民主主義が徹底しており、多くの国民は社会に積極的に参加し「国を信頼」しているようです。教育でも一人一人の子供が自分で考え、行動するような教育をしています。こんなエピソードがあります。デンマークに移住した日本人家族の小学生の遠足の日、親は何を子供に持たせるか先生に尋ねました。先生はただ自分に必要な物をもって来るようにと即座に答えました。教育にしても、介護にしても個人を尊重しています。報道の自由度ランキングでも北欧の国は常に上位に入っています。最近の調査では日本は180カ

国中72位となっています。勿論よい事ばかりでなく、矛盾も出てきています。最近では、安全で幸福な国というイメージから多くの移民、難民が押し寄せ、この対応が大きな課題となっています。例会では、北欧に関するDVDを観たり、会員が持ち寄った本や新聞記事を話題にして、皆でおしゃべりします。また時には北欧に関する講演会の聴講、博物館・科学館・映画鑑賞等で外に出ることもあります。特にテーマにこだわらず、会員が興味を持ったことを話題にしています。北欧のシステムや日常を知ること、今まで当然と考えてきたことも「目から鱗・・・」で発見したり、疑問に思うこともしばしばです。例会は月に1回、新所沢東公民館にて、第4火曜日午後を基本に開催しています。現在会員は5人前後と少ないですが、その代わり充実したおしゃべりタイムを過ごすことが出来ます。まだ、ところざわ倶楽部に所属してない方も気軽に参加してみてください。

**わがサークル自慢****結成 10 年目を迎えて 仲間との活動が楽しいです！****地域の自然を考える会 海老澤愛之助**

私たち「地域の自然を考える会」は、大堀聰先生のご指導のもとで、二年次の活動を行いました。市民大学を修了するにあたり何らかの形で二年次の研究テーマを生かしたサークル活動を残そうとの考えのもと、地域の自然、特に放置されている雑木林がこのままでは遷移が進み、いずれは武蔵野の雑木林がなくなってしまう恐れを何とか食い止められないものだろうかと考えサークルの立ち上げを行いました。従いまして当初の思惑としては、武蔵野の雑木林が消滅に向かい逼迫している状況を世に発信し、食い止めることを一つの目標としておりました。これについては、力足らずで思うような成果を挙げる事はできずに現在に至っております。これらについて適切な発信ができていれば我がサークルの自慢になっていたでしょうが残念であります。さて、現在何を活動の中心にしているのかですが、(財)「トトロ財団」の取得・管理地である 12 号地における武蔵野の雑木林の状態を保ってゆく手入れであります。武蔵野と言えば国木田独歩の『武蔵野』が思いだされますが、その中に、文政年間に出された地図の記載として、太平記に書かれて

いる古戦場「小手指原久米川」のうち、「武蔵野のおもかげは今わずかに入間郡に残れり」とあり、独歩もこの古戦場を実際に見てみたいとの望が大きくなったと記しています。12 号地はその小手指の一角、所沢市北中運動場の近くにあり、周辺は雑木林と畑であります。独歩の『武蔵野』で記述されている小手指で雑木林の保全作業を行っているのも何かのめぐり合わせと思っております。またこの作業ではトトロ財団の若い方々と連携して作業を行うことで地域への係わりや刺激を受けております。

また、今年で 3 年目を迎えましたが、6 月 5 日に、国土交通省・環境省が行っている全国規模の河川の水質調査に協力しております。柳瀬川の 4 地点の定点観測ですが、地域や公的機関への協力になっていますので、だんだん高齢化しているサークルですが、若返りを目指す努力をし、これら地域還元とも言える運動の継続を図っていききたいと思っております。

このような、地道なサークルの安定的な継続が図ればそれが自慢と言えるのではないのでしょうか。

わがサークル自慢

会の現状と運営について

ところ会 居田 治

あまり自慢するようなことはないのですが、思いついたことを述べてみたいと思います。



堀兼神社にて

●名称について

先輩方が活動しておられる会の名称とまぎらわしいとのことで、昨年会の名前を変更し「ところ会」の名前を使用しています。元は「歴史を楽しむところ会」で、後段を生かして「ところ会」に変えましたが、「楽しむ」と「歴史」を活動の核として運営しています。

●昨年1年間の実績

年間12回の活動を立案しました。「ところ会」の例会は、主に外歩きを計画していますが、昨年9月の「彼岸花の巾着田と高麗方面を歩く」のみが雨天中止で、それ以外は実行出来ました。中止になった9月の例会は高麗郡建都1300年となる今年に再度計画ですが、活動予定日が彼岸花の開花時期と一

致するかが問題です。

●現状

現在、ところ会の会員は28名で、女性が15名、男性が13名です。今や過半数を越えた女性陣から良い評価を得るためには、ところ会のモットーである「楽しむ」を実践すべく、昼食は弁当持参を避けて全員が同じテーブルで楽しく食事できる店を探します。そのポイントは価格が安く、最後にデザートが出てくるようなお店は概ね評判が良いようです。また、途中の休憩タイムにはアメやお菓子の他、漬物や冷やした果物等を女性陣が振る舞ってくれます。

●今後の運営方法

現在、月々の例会の参加者が20名前後ですが、繁華街等の狭い車道を歩く場合等には、安全面を考慮すると、現在の会員数が適当と考えており、積極的な新規会員の勧誘はしていません。会の門を叩いてくれる入会希望者には扉を開いています。希望者には、お試参加で会の実態を知っていただいてからの参加をお勧めします。

第24期 所沢市民大学開講式

第24期企画委員会 委員長 西郡 貢

第24期所沢市民大学の開講式が6月7日（火）午後1時半から開催されました。

受講生は4月19日に、厳正に行われた抽選会で選ばれた80名（男性48名、女性32名）です。受講生の中には3回目のチャレンジで合格という方や、開始1時間前から来られた方もおられ、また受講生全員の出席等受講生の意気込みを感じました。

開講式とその後のオリエンテーションで、所沢市民大学学長の内藤隆行教育長、生涯学習推進セン



内藤教育長挨拶

一倉富恵理子所長より祝辞をいただきました。

教育長、センター長からのお話は以下の内容

でした。

市民大学は市民が学習による自己研鑽を共に進めるため、企画・運営する学習の場です。各人の自

立した地域参加の中で地域に学びを広げ、学習の成果を社会に還元することにより「ふるさと所沢」のまちづくりに貢献することを目的としています。

西郡からは、この目的を達成するために、市民大学の4つの理念を説明。①市民参加でつくる ②出会いの場、交流の場をつくる ③問題を発見し共に考える ④地域に学びをひろげる。この理念に基づき、特に時代に合わせた講座、①最近の気象現象から気象システムを理解する「地球環境」②中東問題を理解する「イスラームの概要」③女性の社会進出の面から所沢生まれの女性「三ヶ島霞子」を講座に取り入れました。また、講座以外でも交流の場を増やすための、移動学習や受講生中心に企画・運営する自由企画、課外授業や交流会等で見聞を広めると共に、受講生全体の交流を望んでいます、と。

次週から講義や課外授業などが順次展開していきます。受講生と企画委員の協働で織りなすものであり、今後の展開を楽しみにしています。

「私にとっての昭和」
第7回

昭和30年代 衝撃的だった安保闘争

葵の会 水上 俊彦

激動！ 戦後の昭和の歩み



私は戦中生まれだが、終戦の昭和20年8月15日の時点ではまだ1歳にはなっていなかった。昭和は64年まで続いたが、昭和20年の終戦を境に国内情勢はガラッと変わったらしい。私は生まれる前の日本は知らないから“らしい”と言う他はないが、その後の昭和は私の年と共に年月を重ねて来た。もう平成も27年が過ぎ“昭和は遠くなりけり”の域に入らんとしているが、まだ戦後と言っている。いつまで戦後と言うのか知らないが、71年が過ぎた現在、昭和と言う時代はどういう時代であったかをおぼろげながら感じ始めた。私も後期高齢者と言われる年齢に近づいたので昭和の総括が必要ではないかと考える。私は44年間昭和に在籍した。中学生となって新聞が理解できるようになった頃を思い出す。あの頃は全国的にもデモが多かったように記憶している。日教組の榎枝委員長が先頭に立っていて、担任の先生もデモに参加しクラスが自習となった記憶がある。経済の面では世間にテレビや洗濯機が普及し始め、政治的には国内は混乱状態であった。世界的に見ても東西冷戦のさなかで日本の世論に大きく影響を与えていた。

日本が騒然とした安保闘争

岸内閣成立が昭和32年、33年は日教組の勤評反対、安保闘争が34～35年でデモは全国で100万人を超えた。この当時は連日デモで全学連が国会へ突入、議事堂周辺のデモで東大生が死亡したと記憶している。連日この攻防戦が真新しいテレビで放映されていた。社会党の浅沼委員長が刺殺されたのもこの頃であった。私はまだ子供じみていたが戦っているのは私より5歳くらいしか変わらない年上の人達で、興味を持って見ていた記憶がある。昭和35年6月には新安保条約が発効したことで、7月には岸内閣は総辞職し、池田内閣が発足した。戦後の零から出発した日本経済は政治的な混乱の陰で着実に伸びて来たのか、12月池田内閣は所得倍增計画を発表した。昭和37年には冷戦の象徴であるキューバ危機もあった。39年10月には東海道新幹線が開通し、続いて東京オリンピックが開催されている。翌年にはベトナム戦争の北爆が開始され、昭和44年は東大闘争で安田講堂の攻防戦、東名高速道路開通、そして国民総生産が世界第2位になった。45年3月には



大阪で万博が開催されているが、6月には77万人の安保反対デモが起こり、まだまどくすぶっていた。東西冷戦から国際情勢は益々激しさを増し日本の情勢にも不安定要素を醸していたが、所得は倍増に次ぐ倍増で国民生活には明るさと期待が見え始めていた。

新安保の果たした役割は？

その頃を今振り返ると、新安保条約の果たした役割を第1にあげなければならないと思う。当時においても同盟を結べる国はソ連や中国ではなく米国しか見当たらない。約20年前の大戦で焼夷弾や原爆を落とされ、数多くの肉親を失った相手であったので反対デモの激しさは当然と理解できるのだが、決定要素は冷戦の世界情勢にあった。あれほどの激しいデモに会いながら、岸内閣の米国と結んだ新安保条約の調印は確固たる戦後の平和確立への第1歩であり英断であったと思う。

戦後の無防備の態勢の中で一途に驚異的速さでの経済復興を成し遂げ、米国に次ぐ世界第2位の経済大国になれたのも米国に組したお蔭と考える。そして、その上に憲法第9条「戦争の放棄」を盾として使い世界の紛争に巻き込まれることから逃れて復興に専念出来たのだと思う。日本国憲法の前文に「われわれは、平和を維持し、専制と隷従、圧迫と偏狭を地上から永遠に除去しようと努めている国際社会において、名誉ある地位を占めたいと思ふ」とある。平成2年にはイラク軍のクウェート侵入が勃発し、直接の戦闘には参加しない代わりに、合計130億ドル（1兆7千億円）提供した。非戦闘分野へ陸海空自衛隊をも派遣した。戦後の日本は戦争によってはかろうじて1兵卒も失っていない。国際社会において、“名誉ある地位”を占めるにはお金が掛かるものかと思う。それに見合う貢献を果たすため、今後もこのような問題に直面することがあるだろうと思う。その時もこのようにうまくすり抜けることができるだろうか。

全国民で考えよう 沖縄基地問題

ただ、我が国の問題として、沖縄に新安保条約に基づく基地等が集中していることから、諸問題が発生している。中国との関係から沖縄は益々その重要性を増していると思われるが、沖縄県民だけが負う問題ではない。この問題を対岸の火事と見る事は許されない。国民が自分のこととして捉え英知を注がなければならないと考える。

「出会い」シリーズ第14回

落語との出会い！

渡辺昌一郎（芸名 水々亭めだか）

私が「落語」とつながりを持ったのは、今から 50 年前のこんな出会いからでした。

学生時代の友人 T 君は、落語好きが高じて先代「林家正蔵」師匠の内輪となっていた。そんな T 君の誘いもあり、何人かの仲間で、時々落語を聴きに、池袋演芸場や上野鈴本演芸場等に通っていました。「正蔵・文楽・小さん・三平（以上先代）・圓生・志ん生・志ん朝」等多くの落語を聴くことが出来ました。一日中演芸場で過ごしていた事なども思い出します。あの頃が、私のまさに「落語」が青春でしたね。その後、私は地方勤務の関係上、T 君や仲間達と疎遠となり、「落語」からも自然と離れてしまいました。時々TVの「笑点」を見るぐらいでした。

今から 20 年前、偶然と言うか、運命と言うか、出会いと言うか TV「笑点」を観ていたら、なんとそこに T 君が太神楽曲芸師として出演していたのです。えっ〜！ 彼だ〜！ T 君だ〜！ 何で TV に出ているの〜？ 元気で活躍している姿を見て安心した様な、あれっ！ 落語家志望だった様な！ 早速師匠（これより T 君ではない）に連絡。師匠曰く、サラリーマンを 10 年目で退職し曲芸師（今は：江戸独楽の曲芸）の道へ進んだそうです。それじゃあ〜師匠を応援しようじゃないかと思ひ、学生時代の仲間や師匠の教室関係の生徒さん達と、私が発起人（会長）となり後援会（19 名）を立ち上げました。この後援会活動を通して、会社関係と異なった世界の人たちとの関わりや、人生の先輩方との出会いは、私にとっては新しい自分を見つける良い機会でした。人生経験の場ともなりました。現在も会員（90 名）で師匠を応援しています。こうして、また新たな「落語」との関わりが始まったのです。

第二の「落語」との出会いは、私の職場に転入して来た後輩の大内（芸名：だっぺ）さんです。彼は新任挨拶で、「都内某所にて 10 年近く落語教室に通って勉強しています」と話されたのです。身近に落語好きな同志が来るなんて、短い期間（約 1 年）でしたが、時間があると落語談義に花を咲かせていました。私は退職後も毎年彼の落語会には、両国まで観に行っています。また、今年 4 月には、私の出演する「花見寄席」に彼が、所沢まで観に来てくれました。お互いに感想を報告し合っている仲です。これからも大切にしたい「落語」の先輩であり、憧れであり、落語仲間の一人です。

第三の「落語」との出会いは、何と言っても「富岡落語研究会」です。4 年前退職と同時に、上述の大内さんの影響を受け、私にも「落語」出来るのかな〜と軽い気



富岡落語研究会の皆さん（左手前 筆者）

持ちで「研究会」に入門してしまっただけです。研究会の初会合で、いきなり芸名を決めてくださいと言われ、

ハテナんにしたらよいやら。そうだ、昔、T 君から渡辺は「水々亭めだか」がいいよと言われた事を思い出し、即決定。ここから、「水々亭めだか」が誕生したのです。今思うと、50 年前の出会いから私の芸名は定められていたのかも、運命を感じますね。

「研究会」の先輩で「故人 タ立家ごろごろさん」（本名小泉さん）との出会いは、衝撃を受けましたね。何しろ、風貌（頭つるつる）から語り口（口をとがらせる）まで、「古今亭志ん生」にそっくりさんなんです。そして、噺は上手い！「志ん生」の生まれ代わりかと思いました。私と師匠「ごろごろさん」二人での出前寄席は、私「めだか」が前座、「ごろごろさん」が真打（トリ）のコンビで、何だか落語家の修行時代みたいな〜経験が出来ました。また、送り迎えの車の中では、人生経験豊富な「ごろごろさん」から、出生の事、戦争（兵隊）の事、商売の事（クリーニング店等）、町会長時代の事、所沢の歴史など、ヒストリーを聴いてるような、どれもこれも、私にとっては有意義なお話でした。亡き「ごろごろさん」の十八番「火焰太鼓」を演じる事が、私の目標となっています。そして、現在まで何とか「落語」を続けて演じられるのも、初高座での体験からです。場所は、介護施設（ロイヤル病院）。高座に座った途端、心臓はドキドキ、汗はダラダラ、口はパクパク、噺を忘れヒヤヒヤ、全然笑いが取れず、終わってフラフラ。しかし、帰り際にお客様から面白かったよと声を掛けて頂いたのです。さらに、握手をしてくださいと言われ、なんだかスターになった様な気分（初めて味わった嬉しい気持ち）。一生懸命に演じる事で伝わるんだと改めて思いました。今もこの思いを忘れずに、精進あるのみ！まだまだ未熟ですが、今後も大勢の人に笑いを届けたいと思います。

「落語」を通しての出会い、T 君・後援会の皆さん・大内さん・そして富岡落語研究会の皆さん、出前寄席のお客様等々を含め多くの人との出会いに感謝するとともに、これからの出会いも大切にしたい。しかし、今は健康第一！落語は第二！…いやいや妻が第一でした！

サークル活動計画

興味のある活動に参加してみませんか？

1. 葵の会（池田新八郎 2940-0711）

7月 6日(水)、7月 13日(水)、7月 27日(水)13:30～
生涯学習推進センター
ところざわ倶楽部古典文芸講座「太平記」に参加
8月 4日(木)文楽ビデオ鑑賞・暑気払い(木曽路)
9月 15日(木)古典文芸講座「太平記」第2部 開始予定

2. アジア研究会（玉上 佳彦 090-2497-1076）

7月 27日(水) 13:30～ 中央公民館 8・9 号室
定例会 本年後半の活動計画など打合せ
8月, 夏休みとします。但し暑気払いの会は未定

3. 活いきシニア福祉の会(佐藤 重松 090-5412-5760)

7月 15日(金)13:30～15:30, ラーク所沢、筋力養成講座
7月 27日(水) 9:30～生涯学習推進センター, コミュニティ
ホール 第20回定例会 社会福祉協議会ウイズプラン
7月 30, 31日 10:00～16:00, ふらっと、
地域福祉サポーター養成講座

4. 楽悠クラブ（福田 晴男 事前連絡は不要）

7月 12日(火) ①歌劇「ファルスタッフ」(ヴェルディ)
②フォークソングを楽しむ
8月 9日(火) ①パイロト祝祭劇100年間の足跡をたどる
②頭の体操・音楽クイズ
いずれも 13:15～, 中央公民館 # 8, 9 学習室

5. 食を通して所沢を知る会（吉田 麗 2939-9662）

7月、8月は夏休みとします。

6. 地域の自然を考える会（海老澤愛之助 2922-0259）

7月 26日(火)10:00～定例会 トロ12号地
(雨で現場作業が中止の場合7月 28日(金)に現場作業を
スライドする トロ12号地)
8月 23日(火) 10:00～ 定例会 トロ12号地

7. 地球環境に学ぶ（塚本 二郎 2942-3117）

7月 19日(火)9:00～ 定例会 新所沢東公民館
各人の研究課題の発表と意見交換など
8月は夏休みとします。

8. ところ会（居田 治 2903-8400）

8月 25日: 三上博史さん講演, 所沢小学校郷土資料室見学
9月 23日: 彼岸花の巾着田と高麗方面を歩く
10月 20日: バス旅行計画(詳細未定)

9. 所沢シニア世代地域デビュー支援の会(田口元也 090-9820-5668)

7月 12日(火) 9:30～11:00 定例会 所沢中央公民館1F 学習室
議題 ①「シニア世代なんでも塾」開講に向けた内容検討
②「市民活動センターまつり」に向けた内容検討
※シニアダンスチーム「SMILE PIRATES」発足の準備を
すすめております。ごいっしょにいかがですか。

10. 所沢の自然と農業（清水 仁一 2944-8835）

7月 14日(木) 13:00～新所沢公民館 定例会
7月中・下旬 北野小暮農園 養蚕作業ボランティア
8月 夏休みとします。

11. 野老澤の歴史をたのしむ会（大山 豊 2993-0818）

7月 7日(木)10:00～12:00 中央公民館学習室 1, 2 号
般若心経を読み解く
8月 4日(木) 渡辺先生を囲む会と暑気払い 詳細未定

12. ドラマティック・カンパニー（佐藤 滋 090-1540-0161）

7月 9日(土) 9:00～10:15 中央公民館
7月 16日(土)10:00～12:00 新所沢公民館
「夏の夜の夢」を読み進めます。
8月は夏休みとします。

13. 懐かしの映画・鑑賞会（二上 拓夫 080-1250-6151）

7月 12日(火) 10:00～12:30 西新井町公民館
■邦画「暁の脱走」'50年新東宝 山口淑子・池部良
7月 26日(火)10:00～15:00 頃迄 西新井町公民館
『暑気払い！そうめんパーティー』夏休み後9月13日

14. 北欧の会（樋口 俊夫 090-6483-7993）

7月、8月は夏休みとします。

15. 傍聴席（高垣輝雄 2926-7164）

7月 19日(火)14:00～、新所沢東公民館 学習会
中 毅志氏のお話し: 市議会議長 中 毅志氏をお招きし、氏
の信条、まちづくりへの思い、所沢市の現状と課題、議会運
営などのお話を聞きます。(詳細は倶楽部HP)

16. みんなで学ぼう認知症（加曾利厚雄 2939-2308）

7月 25日(月) 13:30～16:00 生涯学習推進センター
101号7月定例会 **タッピングタッチ**(タッチケア)で
癒しのホルモン **オキシトシン**

17. 民話の会（仲山 富夫 090-3902-0283）

7月 22日(金)10:00～12:30 中央公民館
9月以降の活動計画確認 「とんぼの宿り木」読み合せ
8月は夏休みとします。

18. 歴史散策クラブ（大河原 功 2943-2004）

7月 8日(金)(雨天の場合15日) 所沢駅 2階 8:15
～義貞鎌倉攻めのコースを歩く～ <定外活動>
7月 30日(土) 法華寺焙烙灸・申込は代表迄<定外活動>
8月 27日(土) 9:30～新所沢東公民館 座学&暑気払い

【私の健康法 第38回】



早寝 早起き そして食事を楽しむ

ところ会 小林 典子

▼生来無精者である。「ねばならぬ」というストレスは出来るだけ避けたいので、健康法もすこぶる緩やかなものを取り入れている。▼長く療養生活を送っていた義兄から“人間は、眠れて、食べられれば大丈夫”と聞いて以来、睡眠と食事に気をつけることが私の健康法のテーマになった。▼夜は九時には就寝する。であるから朝は早い。これは、早く寝て、家族が寝静まった夜中に起き出して勉強していた受験期以来の習慣なので、会社の同僚やサークル仲間との付き合いに支障をきたすこと甚だしい。家族が起きるまでに好きな事をして過ごす数時間が、心のゆとりを生む上で大変貴重なものになっている。▼食することについては、食材購入時に、包装に書いてある事柄をよく読むことから始まる。家庭料理は野菜料理と心得ているので、一度に大根1本、キャベツ1個を使い切ることが多い。何が出来上がるかわからない食事作りはスリルに満ちていて刺激的だ。▼体を動かすことが億劫な質のため運動は何もしていないが、できるだけ歩くようにはしている。家から所沢駅までの往復はバスが便利だが、体が続く限りこの距離は歩くと決意している。▼先ごろ発表された所沢市の「トコロん健幸マイレージ」事業に夫婦で参加申請した。当選したら今より少し努力して一日8,000歩、中強度活動時間20分以上を目指すことになる。



むさし野俳句会（二十八年六月）作品抄



一日は読書読書や梅雨長し
素面なるシテとアドめて涼しかり
永生きは葉裏に生きるかたつむり
万緑や神籤みせ合ふ修学生
道草も覚え五月の一年生
夏の日の鍾乳洞や青深し
惜春や校歌一節忘れをり
幸せは恙無き日々新茶汲む
雨意の風涉りあるなり菖蒲園
母の忌や白あぢさゐを文机に

利根川啓一
中嶋 弘子
中村 直子
橋本 佑子
平栗 彰子
宮本 信生
荒幡千鶴子
飯泉 陽子
井出 昇
海老澤愛之助

傘さして親子の見入るかたつむり
またしても空を飛ぶ夢かたつむり
麦秋や年はとれども青二才
梅雨の雷客一人無き動物園
深山路の果ての札所や河鹿鳴く
かたつむり富嶽の雨を産湯とす
飼育箱倦まず見入る子かたつむり
鮎鮎や鳩の湖風立ちにけり
水滴をひとつ乗せたる蓮浮葉
籐椅子や心にかかるものは無し

粕谷のぼる
河瀬 俊彦
小林 貞夫
小林 典子
佐藤 八郎
白神 恵子
高梨 千代
高橋三加子
高光 泉
鈴木 征子

《編集後記》

一年は早い。好きな紫陽花を見に鎌倉にでもと思っ
ているとすぐ季節は変わってしまう。「広場」の紙面作り
も似ている。次こそああしたい、こうしよう、と考えて
いるが締め切りがすぐ来てしまう。紫陽花の次は蓮だ。
泥の中からあの大きな夢のような花を咲かせる見事な
花だ。「蜘蛛の糸」の中に「お釈迦様が蓮池を散歩して
いると・・・」とあるが、あのお釈迦様の心象風景
は如何に。編集に携わり始めると、物事を自然と全体か
らや反対側から客観的に見たくなる。「蜘蛛の糸」を読
んでから小さい生き物を大切にしようになった。誰だ
って万が一地獄に落ちた時の為に保険も必要だと考え
るだろう。編集での保険は何だろう。執筆者とのコミュ
ニケーション。でも時に予期せず奇想天外も起こる。さ
て広場7月号、仲間と一緒に頑張って作りました。力を
合わせ編集出来た事はこの上ない喜びです。（新井）

川柳①

課題「学校」

作品発表

中島峯生 選

中三は学校さぼり塾通い
いつの間に雀が育つ父パパに
ふるさとの廃校の庭のびる伸び
学校の木造校舎セピア色
学校で王様だった子今家来
涙拭いた袖をひからせ拭く廊下

どうし
庵閑子
丘の河童
思い出アルバム
海さとり
方声

「自由句」

千鳥足三割増しで一万歩
一人静待っていたいのあなただけ
独り者元氣なうちに祝い膳
ヤドカリがせこいせこいと知事叱る
トランプでババ抜き遊び共和党

万歩計
海さとり
どうし
丘の河童
庵閑子

次回 課題「算数」又「自由題」 8月20日締切
担当中島まで

宛先 mh-naka@jcom.home.ne.jp

FAX04-2928-1161